



杉森だより

令和 5年10月31日
調布市立杉森小学校
校長 清水 吏

<http://www.chofu-schools.jp/sugimori-sho/>



sugimori-sho@chofu-schools.jp

「月がきれいですね。」

校長 清水 吏

11月は、10月に引き続き、天体観測に絶好の季節です。11月20日頃の南の空には、半月が輝き、その近くに土星が輝いています。また、11月25日の東の空には、満月手前の月に、木星が最接近して並んで見えます。空気が澄み、月を観測するにはよい季節が続きます。詳しくは「2023年11月の天体ショー」で検索してみてください。

さて、文豪夏目漱石が“I love you.”を「月がきれいですね。」と訳したという逸話があります。（真実かどうかは諸説あるようですが。）英語のテストだと、×か、良くて△でしょうか。しかしながら、日本人の姿を思うとき、名訳だと感じます。単にダイレクトに言うことに恥ずかしさを感じるというだけではなく、二人の位置関係に注目します。二人が正面に見つめ合ってささやくのが“I love you.”に対する「月がきれいですね。」は二人が並んで月を愛でている姿が思い浮かびます。日本人は、大切な人と見つめ合うよりも、同じものを二人で見つめることを大切にしてきた文化なのだと思います。（最近の若い人は見つめ合うことが多いのかもしれませんが。）

子育てにも同じようなことが言えるのではないかと考えました。「この子はどんなことを考えているのか。」「どうしたら幸せになるか」と子どもの姿を見つめ、思い悩むことが多いのではないのでしょうか。目の前の子どもの姿から情報を得ようとすることは親として当然のこととは思いますが、しかし、「何に興味をもっているか。」「どんな将来を夢見ているか。」「何に悩んでいるか。」と、子どもが見つめているものを同じ視線で見つめて理解したり思いやったりすることが大切です。親の理想や希望を子どもに投影させ、それを見ることにならないよう注意したいものです。

やっと訪れた秋の夜長、天体ショーの続く夜空を一緒に見つめ、お子さんの見ているものや未来に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

土曜授業公開（授業参観）には、多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。インフルエンザ感染拡大が心配される中、スポーツフェスティバルでできなかった短距離走や子どもたちの学習する姿をご覧いただけたこと、嬉しく思いました。さて、今月は学習発表会が開催されます。お忙しいとは思いますが、お越しいただき、子どもたち、教職員を励ましていただきますようお願い申し上げます。

11月の行事予定

()は学年を表しています。

1日	水	ふれあい月間 あいさつ運動週間始 4時間授業	17日	金	学習発表会児童鑑賞
2日	木		18日	土	学習発表会保護者鑑賞日
3日	金	文化の日	20日	月	振替休業日
6日	月	安全指導日 5時間授業(56)	21日	火	全校朝会 学習発表会片付け(5)
7日	火	B時程 全校朝会 5時間授業 学習発表会会場設営(6) あいさつ運動終	23日	木	勤労感謝の日
8日	水	4時間授業(1-4以外)	24日	金	B時程 朝読書
9日	木	全校集会	27日	月	クラブ活動
10日	金	B時程 5時間授業 朝読書	28日	火	全校朝会 たてわり班遊び
13日	月	委員会活動	29日	水	4時間授業
14日	火	B時程 全校朝会	30日	木	連合音楽会(5)

1年生 生活科



「アサガオのつるでリースづくりをしよう」

1年生では、アサガオのつるを使って、リースを作りました。

春から大切に育ててきたアサガオの時期が終わり、みんなで話し合っ、リースを作ることになりました。

つるを支柱からとることが難しく、友達や保護者の方と協力しながら行う姿がたくさん見られました。

みんな、一生懸命リースの形に巻いて世界にひとつだけリースができました。

2年生 パネルシアター



10月16日から10月20日にパネルシアターお話をさせていただきました。「どかねこ」「はしれ！カボチャ」「まっくろネリノ」の3つのお話をしてくださいました。

講師で来てくださった、安池 真理子さんに感謝のお手紙を書いたところ、それぞれ印象に残ったお話や、面白かったことがあったようです。お土産にいただいたPペーパーにそれぞれ絵を描いて、服につけて嬉しそうにしていました。



4年生多摩川大走査線

4年生は、年間を通じて「多摩川」を題材に学習を行っています。秋の花火大会や、休みの日など子供たちにとっては幼いころから親しんでいる場所です。

多摩川の学習を通じて、4年生の子供たちに感じてもらいたいことは、2つあります。1つ目は、「多摩川の魅力に改めて気付くこと」です。4月から何度も多摩川へ行きました。そのたびに、子供たちはたくさんの面白さを味わってきました。新しい発見や、多摩川とのより深いかかわりの連続でした。2つ目は、「自分たちの地元、『多摩川』と、これからどのようにかかわるか考えること」です。多摩川の歴史と今の魅力を知り、未来の多摩川の創り手となってほしいと願っています。

たくさんの地域の方の協力をいただき、学習を進めてきました。

中でも講師として子供たちに多摩川のことを語ってくれる「けんさん」の存在は、偉大です。多摩川を知り尽くした「けんさん」から聞いた話のどれもが子供たちの経験、財産となっています。

学習発表会では、これまでに学んだことを4年生全員で発表します。ぜひ、子供たちの学びを見ていただきたいと思います。

